

希望し、努力し、感謝して生きる

# 長崎瑞宝太鼓 チャリティコンサート

## 友情出演

とっておきの音楽祭で  
おなじみ!

## 「鼓逢」

太鼓との出逢い、仲間との出逢い、ヒトとの出逢い、  
そんなたくさんの出逢いを大切に、演奏していきたいと願い、2003年に結成。  
とっておきの音楽祭、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、仙台七夕まつり、  
青葉まつり、他、そして地域のお祭りに出沒。  
元気と笑顔をお届けします。  
手拍子、足拍子 なんでもOK。お楽しみいただけるとうれしいです!

日時

2012年6月5日 火

開演 18:30 (18:00開場) 終演 20:30

会場

仙台市太白区文化センター

楽楽楽ホール 大ホール

全席  
自由

●前売券 / 大人 2,500円・学生 1,000円 (高校生以下) (当日券 各300円増)

■主催 / 長崎瑞宝太鼓チャリティコンサート実行委員会

■後援 / わらしべ舎、わらしべ舎後援会、わたげ福祉会、わたげの会  
ほっぷの森、ふうどばんく東北 AGAIN、未来環境福祉ネットワーク  
スペシャルオリンピックス日本・宮城

## 瑞宝太鼓山形公演のお知らせ

■日時 / 2012年6月1日(金) 18:00  
■会場 / 山形県川西町フレンドリープラザ

■お問い合わせ / 長崎瑞宝太鼓チャリティコンサート実行委員会 ☎090-3123-6363 (白木)

# 瑞宝太鼓

瑞宝太鼓のプレーヤーは皆知的障がいというハンディがあります。平成13年、それまで勤めていた仕事を離れ夢にまでみていたプロの和太鼓奏者になりました。この9年間で約1,000公演・動員数約340,000人。これまで多くの皆様に育てていただいた感謝の気持ちと経験の成果を太鼓の響きに込めて、たくさんの方々へお届けできるようにと企画いたしました。

## プロフィール

私たちは大好きな太鼓を打ちながら、自分の力を最大限に発揮していくと共に地域との交流を深め、誰もが住みやすく活気ある社会づくりを語りかけます。

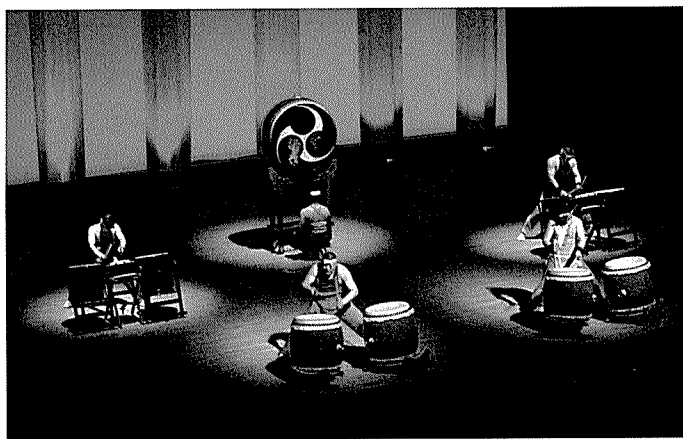
**海外演奏** ス페인パラリンピック閉会式に出演  
 ニューヨーク国連本部・ロサンゼルス公演  
 シドニーパラリンピック・ブリスベンフェスタ出演  
 スウェーデン・ブルネスINAS・FIDグローバル大会他演奏  
 マレーシア「ムヒバセンター」開所祝賀演奏・友好訪問演奏

**受賞** 平成10年7月 北九州国際障害者芸術祭 最優秀賞  
 平成14年10月 第一回東京国際和太鼓コンテスト入選  
 平成15年10月 第二回東京国際和太鼓コンテスト入選  
 平成18年12月 長崎県地域文化章  
 平成19年12月 雲仙市特別賞  
 平成20年7月 サントリー地域文化賞  
 平成20年11月 長崎県民表彰特別賞受賞  
 平成22年8月 第九回東京国際和太鼓コンテスト優秀賞  
 平成22年12月 雲仙市特別賞

**テレビ放送** 平成13年10月 NBCテレビ「電撃黒潮隊」放送  
 平成19年9月 NHKテレビ「ながさきヒート」放送  
 平成21年4月 報道センターNBC「瑞宝太鼓 9年目の春」  
 その他、ニュースや地域番組にて多数出演

**新聞** 平成13年 「朝日新聞」「長崎新聞」「島原新聞」プロデビュー記事掲載  
 平成14年 「毎日新聞・言いたいコーナー」岩本団長夢を語る  
 「東京新聞」「西日本新聞」「長崎新聞」  
 東京国際和太鼓コンテスト出場記事  
 平成17年 「福祉新聞」障がい者の職業としての取り組み記事  
 平成19年 「毎日新聞」「西日本新聞」少年院公演ツアー記事  
 「読売新聞・あんしん社会保障コーナー」障がい者の自立記事  
 「朝日新聞・社説」岩本団長愛する人と暮らす  
 平成20年 「毎日新聞」「西日本新聞」福岡公演記事  
 「朝日新聞・窓 論説委員室から」福岡公演感想記事  
 「毎日新聞」「西日本新聞」「長崎新聞」「島原新聞」  
 サントリー地域文化賞 記事  
 平成22年 「朝日新聞」「西日本新聞」「長崎新聞」「読売新聞」「東京新聞」  
 第9回東京国際和太鼓コンテスト「優秀賞」受賞記事  
 その他、各県にて公演のお知らせ記事多数掲載

少年院・刑務所慰問演奏 合計53公演（平成21年12月現在）  
 学校・PTA関連公演 合計112公演（平成21年12月現在）



## ファンからのメッセージ

今まで非行を何度もして  
 くじけそうになりました。  
 だけど皆さんの演奏をきいて、  
 自分も負けてはいられない  
 という気持ちに  
 になりました。  
 誰でもがんばれば  
 何でもできる、ということ  
 を皆さんの演奏をきいて  
 教えてもらったような  
 気がします。

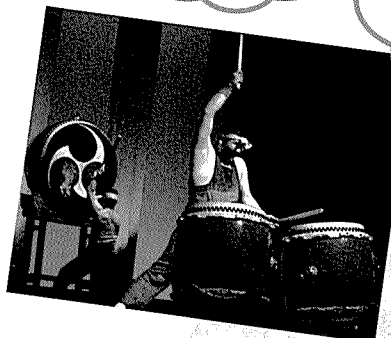
激しい音と動きは  
 迫力があり、  
 気持ちは舞い上がって、  
 目と耳は舞台に釘付けに  
 になりました。

諦めていたら  
 自分の負けだ！  
 ということに  
 気づきました。

骨まで頑張って  
 やっているのが  
 伝わってました。

自分は  
 今まで社会の人達に  
 迷惑ばかり掛けていた事が  
 馬鹿らしく感じました。  
 それに今まで何事にも一生懸命  
 頑張ろうともしないで、  
 本当に情けなくなりました。

「素晴らしい」  
 これ以上の誉め言葉は  
 僕には出ません。



※メッセージは少年院、刑務所慰問演奏会の折、いただいたものです。

**このコンサートの収益金は、社会福祉法人わらしべ舎に寄付されます。**

**障害のある方への理解は、「出会い」「ふれあい」から始まる ~今日がその日~**

わらしべ舎は、1990年に、知的障害者の日中活動の場として、小さなアパートで障害のある方2人を受け入れてスタートしました。余暇活動だけではなく、“働く”事を通して社会参加し、所得の保障もしながら、自立した生活の実現を目指しています。

一人ひとりの個性の尊重と、障害の重い軽いに関わらず、本人の主体性や自己決定を大事にしています。

現在は、42名の利用者が、レトルトカレーや食用廃油を主原料とした粉・液体せっけん、バイオディーゼル燃料や手工芸品を製造販売しています。

カレーショップも運営していますので、太白区西多賀商店街振興組合の一員にも加えていただき、地域の皆さまにも見守っていただきながら、明るく! 楽しく! 元気に! をモットーにそれぞれの自立を目指しています。